



滑川町 町制施行40周年 × 開園50周年
第37回 国営武蔵丘陵森林公園



沼まつり

日時: 2024年9月29日(日) 11:00~13:30

* 少雨決行、荒天の場合は10/6(日)に延期

会場: 国営武蔵丘陵森林公園 あざみくぼ沼(運動広場横 南口・中央口より20分)

参加費: 無料(当日は無料入園日です。別途駐車料金は必要となります)

「捕り会(魚とり)」 中学生以上(事前予約、Web・電話・窓口)

「うなぎのつかみ取り」 小学生以下(事前申込・抽選、Webのみ)

申込み: ①Webでの予約、申込・・・森林公園HPから

②電話・窓口での予約、申込・・・滑川町産業振興課

主催: 国営武蔵丘陵森林公園

後援: 滑川町、滑川町観光協会

協力: 比企丘陵農業遺産推進協議会

滑川町商工会、滑川ひまわり会

合同会社滑川町谷津田米

特定非営利活動法人比企自然学校

文化の森連絡協議会 他

【お問い合わせ】

国営武蔵丘陵森林公園 管理センター

0493-57-2111

滑川町産業振興課

0493-56-6906

参加された方には、
「うなぎ」を一匹
プレゼント!

【日程】

● 捕り会(魚とり)(事前予約制)

11:10 第1部「三角網・四つ手の部」

12:15 終了

12:20 第2部「伝統漁具の部」

13:20 終了

● うなぎつかみ取り(事前申込・抽選)

11:20 開始

11:55 終了

* 詳細は公園HPをご覧ください。



里山の暮らしをささえてきた沼

森林公園がある「埼玉県比企郡滑川町」は、関東一沼の多い町で、大小合わせて約200の沼があり、その約2割にあたる約40個の沼が森林公園内に位置しています。

これらの沼はすべて、田んぼに水を引くために人工的に造られた「ため池」です。丘陵地に特徴的な「谷津(やつ)」と呼ばれる地形を活かして造られており、粘土や赤松など、地元で豊富にある材料が使用されました。

沼が作られた時期は明らかになっていませんが、古くは古墳時代の頃、遅くとも江戸時代初め頃(今から400年前)には、「沼水による米作りのシステム」が完成していたとされており、以来沼は、滑川で本格的な米作りが始まってからずっと人々の暮らしを支える「生命線」の役割を担っています。

*谷津(やつ)・・・河川の激しい浸食を受けてできた沼とは違い、長い期間に渡って緩やかに侵食され、非常になだらかで奥の深い谷となったものをさします。

「沼まつり」について

大雨や地震などで沼の堤がこわれたり漏水したりしないように、たびたび「沼普請(ぬまぶしん)」と呼ばれる補修作業が行われてきました。ちょうど、田んぼで水を使わなくなる10月頃に沼の水を抜き、泥をさらったり、ゴミを取り除いたり、堤を補修したりして、生活に欠くことのできない沼を守るために毎年行われてきました。

その時の楽しみの一つに「捕り会(魚とり)」がありました。

誰がいつ入れたのか、沼には魚をはじめとする沢山の生き物がいて、地域の人々が「ブチヤス」や「ウナギカキ」など、独特な漁具をもって集まり、泥んこになって魚を捕まえました。

魚とりの参加者は「四つ手網(よつであみ)」や「三角網」の網類や、「ヤス」・「ブチヤス」・「ウナギカキ」といった伝統漁具を用いて少なくなった沼水の中の魚を捕まえます。

この「沼まつり」はこうした伝統的な「捕り会(魚とり)」魚とり」を再現したものです。この機会に、ぜひ伝統的行事をご参加いただき、沼の文化的価値を知るきっかけになることを願っています。

